

一般質問



# ごみステーションの 設置、維持管理!!



会派 きずな ● 森 すなお 議員

**問** 本年9月定例会で、「ごみステーションの設置や維持管理に伴う経費について」の質問に対し、市は「ごみステーションの市の負担を明確にするために、行政自治交付金から、ごみステーション設置の補助金を別出しするのは、大変有効であり、一つの手段である。」との答弁でしたが、その後の進捗状況は。

**答** 庁内協議の結果「使途の自由度」、「各自治会の主体性の発揮」、「小規模多機能自治の推進」の観点から、補助金ではなく、現行の交付金制度で対応します。

**問** ごみステーションに伴う課題は。

**答** 様々な苦情があり、区自治会加入者、未加入者に伴う課題も顕著になってきている。全ての地域住民が利

用できるような環境整備に努めたい。

**問** 必ずしも補助金対応すべきと言っている訳ではなく、ごみステーションの利用が、全ての住民にとって公平なサービスとなるよう求めているのです。

令和4年10月のアンケートで、約4割の区長さんが区自治会未加入者のごみステーション利用は認めないと答えています。これは大きな問題です。その後のように対応したのですか。

**答** 区自治会加入者も未加入者も公平にごみステーションが利用できるようにしていきたい。そのためには多くの課題を一つずつ解決していく必要があります。少し時間をください。代表者会議で皆さんの意見を聞き、早急に結論を出します。



# 新年度の予算編成に向けて



無会派 ● 加藤 貞一郎 議員

**問** 今後の財政運営について、お尋ねします。

**答** 昨今の物価上昇による経常経費の増加への対応として、計画的かつ効果的な投資的事業の実施と公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合による管理経費の縮減を進めていく必要があると考えています。

**問** 令和5年度から中学校の学校給食費の無償化を実施されましたが小学校の無償化については、次年度以降、どのように取扱いされるのか、お尋ねします。

**答** 小学校の給食費無償化を行えば約1億6千万円の経常的収入を失うこととなることから急速に財政の硬直化を招くこととなり、物価高騰が続く現状において無償化を行うことは現実的ではありません。

ん。国が実施する子ども子育て世代に対する施策財源支援に注視しつつ実施時期は、見極めていきたいと考えています。

**問** 庁舎建設は白紙撤回されましたが、未だ見えぬ代替案の庁舎像についてお尋ねします。

**答** 庁舎建設に関する過去の検討結果の全てを否定してはいません。そうした中、できる限りの施設・機能は集約化を図り、福祉や防災をはじめとする地域の協力や地域との協働が必要となるサービスは各地域へ分散化する仕組みを構築していきたいと考えていますので、こうした仕組みによる効果を最大限効率的に発揮することが可能な庁舎づくりを行っていきたいと考えております。